

認定こども園旭幼稚園関係者評価表

評価年月日 2021年 3月 30日

評価者名（小野晃男・備前孟秋・神原井）

評価項目	評価（本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由に記述ください。）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で子どもへの安全のために、保育環境に万全な配慮をもって当たられたことに感謝と敬意を表したい。 ・日々の保育活動を見直し、新しい視点のもとに、行事・活動内容・指導形態など精選し保育計画の再構築を図り、旭幼稚園の保育観を深め、共有されたことは大変よかった。 ・コロナ禍の中での保育現場における諸対策の実施、本当に大変な取り組みであると改めて思います。 ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえての保育環境整備のため、園の教職員にご尽力いただいたことに感謝申し上げたいと思います。外遊びを軸にした保育はぜひ続けてほしいと思います。また、休園期間中ですが、教育利用、あるいは保育利用かによって、保護者の負担感に違いがあったように思いました。
2ーア	<ul style="list-style-type: none"> ・のぞみ会で、子どもの姿、保育の反省等の検討のもとに週案を作成し、保育を進めるやり方は大切です。自由保育、縦割り保育を建て前とする上で一層重要と思えます。今後も続けてください。 ・保育者が一日一日、保育で気づいたこと、子どもの動きなどメモを取る・記録化することが必須条件。 ・キリスト教保育へのより深い理解と実践に向けて、教師会、週案会における共有と週案のいっそうの充実を期待しております。個々の子どもの成長に向けての保育の実践を創り出して行って下さい。
2ーイ	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、当たり前となっていた行事を見直し、子どもの望ましい経験化、社会化を図っていく上で大事な活動は…と検討を加える機会を持ったことは大変有意義であった。 ・行事の持ち方について配慮・工夫・見直しをしつつ、子ども中心・主役となる行事を実行されたことに敬意を表します。次年度への計画に、さらに生かされるよう望みます。 ・行事については、他園、他校が中止、縮小を余儀なくされる中で、工夫しながら実施していただき、子どもたちにとってはこの時期の貴重な体験になりました。
2ーウ	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を配慮し、自然とのかかわりの中、外気に触れる活動をより多く取り入れるようにして子どもの心身開放を図られた点、元気な明るい子供たちの動き（歓声）が伝わってくる。 ・子供の興味関心・友への関わり方・遊びの種類など、遊びの質向上について保育者間の共通理解を図る機会を持ったことは自由保育のマンネリ化を防ぐ上で重要です。 ・子どもの具体的動き・姿をきっかけにして教材化し、保育活動が発展的につながっていくようにしたい。 ・園庭、外廊下での遊びの確保、遊びの続きを保障することにより、遊びの質の向上、関

	<p>係の豊かさが広がったことは大変良いと思います。実際の子どもの育ち合う姿を具体的に保育者各自がとらえていって、保育者間の共通理解につなげていくことが重要ではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びきった子どもたちは、身体は相当疲れ切っているけど心は十分に満たされているのを見てとることができます。残念ながら、家庭や地域社会でその時間や環境を保障することは難しくなりつつあります。園生活で満たせると良いと思います。
2-エ	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳児を実態に応じてグループ化し、個別対応を大事にした保育は適切であった。感覚統合的な活動（五感に訴える）がより可能になると思える。 ・増築した保育室を創意工夫した保育の展開に活用して欲しい。多様な子どもたちへの対応、新しい設備、施設の活用の様子を保護者に理解してもらう機会を大切に。
2-オ	<ul style="list-style-type: none"> ・旭幼稚園の教育方針・実践の有様を、子どもの活動・変容の姿など具体的な姿で発信されたことは保護者にとって有難く、理解と信頼を得る手立てであったと思える。 ・情報時代の今日、保護者の願い、要求に応えることのできる内容につとめると共に、旭幼稚園の良さを地域、保護者に知ってもらう「園だより」を発信していくよう願っています。 ・今年はブログの内容を旭誌に活用できたことも、新たな取り組みとなりました。
2-カ	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のおしらせを丁寧に発信したことによって保護者には、特にコロナ禍中、安心感が持てて適切になされた。 ・コロナ禍での例年のない取り組み、本当にご苦勞様です。次年度もまだ必要な取り組みが続くかと思いますが、その時に応じたタイミングでの対策、発信など行って下さい。 ・保護者会が園から保護者向けの発信にとどまらず、保護者同士の横のつながりを深める機会にもなるとよいと思います。今年度はコロナ禍ということもありましたが、年々、保護者同士が顔を合わせる時間が短くなっています。少しでも保障する機会があると良いと思います。
3-ア	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの保育活動が豊かにできるようにするために、施設・設備・教材・教具等、保育環境整備充実配慮された。 ・2歳児専用の庭、日陰空間を活用した、保育の実践の向上を願っております。
3-イ	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した機器の有効な活用を願っております。
3-ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した遊具の保育実践がより拡大、充実されますように。 ・自然の素材に触れる機会はたくさんあると良いと思います。木のおもちゃの勉強会に参加したり、木育ひろばを主催したことがありますが、本当に奥深くおもしろいです。
3-エ	<ul style="list-style-type: none"> ・諸々の訓練、継続していくことにより、保保育者、園児、保護者に周知していくことが大切かと思えます。 ・訓練は本当に大事だと認識しています。主たる保育者（常勤）が不在の場合なども想定して訓練を実施することもお勧めします。
3-オ	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の点検・消毒除菌を朝・夕と徹底して実施し、点検に当たってはチェック項目を表

	<p>化してもれなく実施したことによって、子どもの安全確保に充分留意し的確な対処がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地味なことですが大変重要なことと思います。盲点や「もれがなく」実施することが大切なことと考えます。
3-カ	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡時間を保育活動として大事に位置づけ、子どもの健康維持に配慮されていることが窺える。 ・表による可視化を実践、継続されますように。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、時間外保育の保育者を増やし内容の充実を図って実施したことは子育て支援の一助となり、参加者も増えて保護者の願いに充分応える結果となった。 ・「こひつじ広場」「園開放」の開催でのさまざまな工夫により、好評で参加者が多くあったことはとても良いと思います。参加者のニーズ、期待をより適切にとらえて、いっそうの充実を期待しております。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で研修の機会も限られたと思います。研修の機会、研究発表や研修会、講義や論文などを通して教育に関する知見を修得することも大事であるが、自分の実践を通して自身に真向いながら自分の教育（保育）の在り方はどうであるかを問う主体性を追求することが第一義と位置付けてその面に時間をかけることが大事と考えたい。 ・コロナ禍の中での保育者の質の向上に関わる研修のあり方を見つめ直す時期にあると考えます。さまざまな工夫、新しいチャンスなど求めていって下さい。 ・研修は受講した内容をどれだけ現場で反映できるかが大きな鍵だと思います。ぜひ、継続していただきたいと思います。

本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想がありましたら記述ください。

- ・幼児の心身発達を促す上で、粗大運動的な動きがより重要と考える。発達の上で身体面から見て一年の差は大変大きい。そこで、「体育」の視点から保育活動の一部に年齢別の対応を位置付けることを検討する必要を感じる。
- ・自己点検表の『研修と研究』欄で、他の分野より評価点が低い。自己資質を高める方策として一提案。日々の保育活動を通して、
 - ① : 問題意識を持つ（子供の動き、保育活動の在り方から）
 - ② : ①はどうしてなのだろう（自分なりに分析、判断する）
 - ③ : ②に対してこうしてみよう（他の動きと関連づけながら検討）
 この意識の流れを繰り返しながら吟味検討する自分（姿勢・構え）をつくることが自己向上につながる。
- ・新型コロナウイルスの感染が拡大していく中で、1年間にわたる保育活動現場における大変なご労苦があったことと拝察いたします。園児一人ひとりとそのご家族、保育にかかわるすべての方とそのご家族の上に、主の導き、恵み、祝福が豊かにありますよう、心からお祈り申し上げます。
- ・子育てに不安や悩みを抱えながら、日々過ごしている保育者もいらっしゃることを実感しています。旭幼稚園が子育て支援の一つの拠点として機能することは、もちろんですが、やはりこの1年を通して保護者同士の顔の見えるつながりを保障していくことが必要だと感じています。母の会等と協力しながら、体制

を模索してほしいと思います。

- ・配慮を必要とする子どもへの保育のあり方についても、自己評価いただけると良いと思います。今後受け入れる機会は増えていくと思われしますので、議題にあがることを期待します。